

◇聖職試験・公開説教

日時…10月30日(金) 18時半  
場所…聖アンデレ主教座聖堂  
志願者…太田信三聖職候補生

◇常置委員会報告(10月16日)

はじめに教財務サービス委員長及び財政委員長との話し合いがなされた。

主教報告

・10月3日に行われた大韓聖公会125周年記念礼拝には、日本から8名、海外から約20名の主教が参加した。会衆の参加は約2千名。

・10月19日から21日まで、塚田重太郎聖職候補生の執事按手のためスコットランド聖公会アバディーンおよびオークニー島教区に出張する。

・聖マルコ教会の牧師任命式は10月25日午後3時より夕の礼拝の中で行う。

・10月27日から29日まで東北教区で主教会が行われる。

主教チャプレン、総主事報告

・聖マルコ教会牧師任命式のために必要なものを準備

・池袋聖公会の信徒奉事者認可書及び分餐奉仕許可書を発行

・第125(定期)教区会の書記任命書を発行

・人事異動辞令書の発行

・都税事務所による非課税調査への対応

・塚田聖職候補生の執事按手に伴う書類等を作成

教務主事報告

・教区会の昼食を教区青年会で用意をしたいという申し出があり、承認した

・来年度の日課表の販売は管区事務所のみで取り扱うこととなった。

財務主事報告

・9月末の会計収支報告

宣教主事報告

・各委員会の報告  
・教区ホームページのリニューアルについては、来年早々完成予定

・2016年代祷・信施奉献先について検討中

協議事項

・小平墓地委員の変更願いを了承  
・聖救主福祉会の教区推薦評議員について

・教区会提出議案について

・人事について

(次回11月13日)

◇信仰と生活委員会報告

(10月20日)

報告事項

各教会グループ

・城南G 9月27日「教区再編成準備室のこれまでと今後

の計画」について室長 高橋 顕司祭をお招きし協議会メンバーと意見交換を行った。

・外濠G 10月1日付人事異動について

・山手G 光の礼拝を11月28日に東京聖三一教会で実施。

また説教交換会を11月29日実施予定。

・環状G 9月20日聖マルチン教会主教巡回日に協議会として主教との懇談会を実施

協議事項

・河合弘之弁護士監督作品・映画『日本と原発4年』の教区としての上映検討の要請が管区か

今週・来週の予定

10月25日～11月7日

25 (日)	聖霊降臨後第2主日 主教巡回 神愛教会 牧師任命式 聖マルコ教会
26 (月)	教区再編成準備室
28 (水)	資料保全委員会
30 (金)	聖職試験・公開説教(主教座)
11月	
1 (日)	諸聖徒日 主教巡回 練馬聖ガブリエル教会
2 (月)	教区墓地礼拝
3 (火・休)	教区墓地礼拝

ら宣教主事に来ている。前向きに受け止め、正義と平和協議会とも相談しながら上映会の進め方を検討することとした。

・中高生世代キャンプの振り返りと今後の進め方。特に今年は最初からスタッフに教役者が加わって頂いたことが全てにいい影響を与えたので、来年もそのようにしたいとの要請がなされた。また新たに2016年度の3名のスタッフが紹介され当委員会としても積極的に協力していくこととした。

・2016年度の代祷・信施奉献先の確認を行い次回正式決定する。

・外濠G「バリアフリーのクリスマス会」活動協力申請金2万円拠出を承認可決。

・SS連絡会の新たな位置付けについて高橋顕司祭より過去の経緯の説明を踏まえて、「教役者スタッフ等の拡充」プログラムとしての充実」「子どもか

ら青年層までの信仰生活の活性化」等を目的に教区のオフィシャル活動として信仰と生活委員会の中に「SSネットワーク」として位置づけたいとの提案があり同提案を承認

・青年活動支援部会の今後の位置付けについて、卓司祭より経緯と現状の説明があり、今後の組織再編の動きの中で、当委員会傘下に暫定的に入ってもらいたいとの提案があり同提案を承認

・各教会、礼拝堂のクリスマス礼拝予定を12月7日(月)までに連絡する。

(次回 11月26日)

めの募金箱が設置されている。

▽小金井聖公会 伝道集会

《尊びの愛》としてのアガペー

日時：11月14日(土) 14時

場所：小金井聖公会

講師：遠藤徹(元聖心女子大 学文学部教授、横浜山手聖公会信徒)

入場無料(自由献金あり)

### ◆とこしえの平安

10月10日 星野富士子(105)

三光

◇本日「コミュニオン・秋号」発行しました。

### 「信施奉献先」

可児ミッションの働き

可児ミッションが活動する岐阜県南部にはアジアや南米などからの移住労働者が多く暮らしています。特にフィリピン国籍

住民の人口が年々増加していますが、言語や文化の違いにもかかわらず、

ら、生活上の困難を抱える人は少なくありません。

その中には子育て中の人も多く、子どもが小中学生になつてから来日する家庭もあります。しかし、ずっとフィリピンで生活していた子どもは日本語を話すことも、読むこともできません。保護者も日本語を母語としないため子どもに教えることは難しく、そのまますぐに日本の学校へ編入すると、授業についていけなかったり友達が出来なかつたりし、不登校になる場合もあります。通訳者が常駐している学校は少なく、十分な対応はできません。

可児ミッションでは来日したばかりの子どもたちや日本語が上手でないため不登校になつている外国にルーツを持つ子どもたちを対象に、日本語を教える教室を開いています。岐阜聖パウロ教会を会場として月々金曜日の10〜15

時に開講しています。子どもたちは、ひらがなや漢字の読み書き、会話など日本語の学習を中心に、算数や日本の文化なども学習します。この教室で約半年間学んだ子どもたちは地域の小中学校へと編入します。日本語の基礎を身につけることで、学校生活を送る上での言語の違いによるつまずきが減り、それが原因で不登校になる子どもが少なくなっています。

その他にも可児ミッションでは、幼児の保育や大人向けの日本語教室、編入後の子どもたちのアフターケア、母語による子育て相談、文書翻訳なども行っています。

詳しくは、ホームページ (<http://kanimission.org>) またはFacebookページ (「Facebook 可児ミッション」) で検索をご覧ください。

可児ミッション

パトリシア 赤坂唯